

一般社団法人日本人間工学会第60回理事会 議事録

1.開催日:2022年5月17日(火) 17:00~19:06

2.開催場所:Zoomによる遠隔会議

3.出席理事: <敬称略>

・理事会構成員(27名・定足数14名以上)

(理事):吉武良治(理事長),下村義弘(副理事長,国際誌,第64回大会長),青木洋貴(学術),石橋基範(総務),榎原毅(編集,国際誌),笠松慶子(財務),加藤麻樹(若手支援),辛島光彦(財務),狩川大輔(安全),小谷賢太郎(国際協力),境薫(若手支援),三林洋介(戦略ロードマップ),佃五月(企業活動),中川千鶴(総務),中本和宏(戦略ロードマップ),山田クリス孝介(広報,選管)

[16名]

(理事兼支部長):平沢尚毅(北海道),本多薫(東北),斎藤真(東海),久保博子(関西),内野英治(中国・四国),村木里志(九州・沖縄,編集,国際誌)

[6名]

[計:22名]

(欠席者):易強(企業活動),鴻巣努(表彰),松岡敏生(広報),矢口博之(関東),横山清子(学術)

・オブザーバー:佐藤洋(JENC),鳥居塚崇(国際),堀江良典(表彰),村田厚生(第63回大会長),八木佳子(認定機構)

・監事:青木和夫,大須賀美恵子

・事務局:西原彩,米倉裕美

※全員ネット会議出席者

4.議事概要

定足数14名を超える22名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後,定款に従い理事長を議長として議事を進めた。

【審議事項】

(1)第1号議案 2022年定時社員総会及び配布資料案について(理事長・総務・財務)

6月18日開催の2022年定時社員総会資料について,総務の中川理事より2021年度事業報告と2022年度事業計画が,財務の笠松理事より2021年収支計算書と2022年度予算について説明があった。総会資料へのコメント・修正の締切は5月27日(金)とする。青木和夫監事より,会計監査を実施した旨報告があった。

財務状況の説明について,主な点は下記の通り。

2021年度収支計算書:予算立てしていなかった収入としては別刷料収入が約23万円,第62回大会より約255万円寄付があった。支出では編集委員会費,部会活動費の支出がコロナの影響で交通費が掛からないことなどから支出が抑えられた。学会誌のJ-STAGEへの掲載が滞っていた分を実施した。2021年度収支は黒字となった。

2022年度収支予算書:事業収入として講演会収入を新たに加えた。緊縮財政を実施してきたが,2022年度の各活動については,交通費などで予算を超える場合は事前に事務局・財務へ相談してもらえれば支出できる旨,説明があった。

(2)第2号議案 2022年6月18日開催イベントについて(理事長)

吉武理事長より,6月18日の理事会,総会,主催イベントについて説明があった。第61回理事会はハイブリッドで開催するが,今期2年間は一度も対面開催をできなかったのも,もし可能であれば現地参加してほしい旨

お願いがあった。6月18日の現地参加は基本的に理事会メンバーのみとし、代議員の方にはオンラインにて総会・主催イベントにご参加いただく。

主催イベントは、支部、委員会・担当、研究部会の代表者が発表（ショートスピーチ）する形で実施したい旨説明があり、異議なく承認された。発表は任意とする。発表依頼をこれから発信し、発表の有無を確認する（5/27回答締切）。

質疑やディスカッションを加えるかは、発表人数が決定してからプログラムを作成する際に検討する。また本イベント内容を後日公開するかどうか、検討する。

### (3) 第3号議案 2022年定時社員総会における各種表彰受賞者について(表彰委員会)

堀江表彰委員長より、功労賞1名、論文賞1件、研究奨励賞1件、GP賞として最優秀賞1件と優秀賞1件、トップ10%査読者賞5名、標準化貢献賞5名の推薦があり、承認された。

### (4) 第4号議案 2023年開催第64回大会日程について(下村第64回大会長)

下村第64回大会長より、2023年9月7日(木)～8日(金)の日程にて大会を開催したい旨説明があり、審議の上承認された。例年と異なる日程なので、早めに開催日を広報したい。

吉武理事長より、ここ数年大会開催時期が変動しており、参加者の不便がないかという懸念があることと、次期の課題として今後開催時期をどうするか検討をお願いしたい旨説明があった。

### (5) 第5号議案 SDGs検討委員会の提言書(パブコメ版)について(SDGs検討委員会)

榎原理事より、SDGsに対するアクションをまとめたSDGs検討委員会の提言書について説明があった。本提言書についてパブリックコメント募集を明日より実施するので、ご意見などあればお寄せいただきたい旨お願いがあった。

より広く学会内外へ発信するために、本提言書を学会からの提言書としたい旨説明があり、承認された。パブリックコメント募集にコメントがあった際には、必要箇所を修正等対応・確認したのち、6月総会にて正式に発効できればと予定している。

### (6) 第6号議案 ERGO Directoryの情報更新及びIEA-HFE Educational Mapへの情報提供についての会員への依頼(広報委員会)

山田広報委員長より、以前理事会で承認されたERGO Directoryの情報更新及びIEA-HFE Educational Mapへの情報提供について、学会員への依頼文章案の説明があり、進めることが承認された。今期中に対応するため、5月中に依頼を発信する予定。

## 【報告事項】

### (1) 総務報告

(1-1) 石橋総務理事が、一般社団法人日本人間工学会第59回理事会議事録について報告した。

(1-2) 会勢報告・新入会と退会

2022年4月末現在、会員数1,279名(+10名)、賛助会員21社22口。

(1-3) メールによる審議および報告事項等の結果について(1件)

1件のメール審議の結果、承認されたとの報告があった。

(1-4) J-STAGE掲載に関する暫定的な運用ルールについて

JES本部が関与する学術集会在、会誌のSuppl.でJ-STAGEに残る(現状では、Suppl.は全国大会と日韓シンポジウム)という運用ルールを整備した旨説明があった。

## (2) 第 63 回大会(2022 年 7 月 30~31 日)準備状況報告

村田第 63 回大会長より大会準備状況について報告があった。本日原稿提出締め切りで、まだ未提出の方がいる。現地開催を前提としつつ、新型コロナ感染拡大の状況によってはオンライン開催への変更も想定して準備を進めている。密を避けるため、参加者には事前登録をお願いしている。また大会前日(7月29日)にしまなみ交流館前で受付を設置する予定。懇親会も広い会場を準備している。JES 事務局から依頼のあった第8期理事会メンバーが集まる会場は大会 2 日目に準備できる予定。

## (3) 第 64 回大会(2023 年)準備状況報告

審議第 4 号議案にて報告済み。

## (4) 担当・委員会報告

### (4-1) 広報委員会

山田委員長より、HP「ピックアップ がんばる人間工学家!」の第 9 回を今月掲載した旨報告があった。

### (4-2) 編集委員会

榎原委員長より、学会誌発行状況や査読委員会開催、査読日数、他に下記等の報告があった。SDGs 検討委員会の提言書は、学会提言書として学会誌に掲載することを確認した。

- ・執筆要領に任意で「CPEJ」を表記可であることを追記する。
- ・論文以外のコンテンツのJ-STAGE掲載を進める。
- ・賛助会員の学会誌投稿資格について投稿可であるので、運用実施のための準備を進める。

### (4-3) 国際協力委員会

小谷委員長より、IEA 評議会が10月31日から11月1日にデルフト(オランダ)で開催予定であること、2021 年日韓共同シンポジウムの J-STAGE 掲載準備を進めている旨、報告があった。

### (4-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より、サービスインタラクションの標準化を提案しているなど、活動報告があった。

### (4-5) 表彰委員会

堀江委員長より、第63回大会時の優秀研究発表奨励賞選考手続きの次期引継ぎを進めている旨報告があった。

### (4-6) 安全人間工学委員会

狩川副委員長より、共催する安全工学シンポジウム(6月29日~7月1日開催)にてOS準備を進めていること、安全に関する情報発信をニュースレターにて適時行っているとの報告があった。

### (4-7) 学術担当

青木洋貴担当理事より、横幹連合との関係については次期にしっかり検討したいとのご意見があり、第8期にて確認することになった。

### (4-8) 人間工学専門家認定機構

八木機構長より、4月22日機構総会にて機構長選挙を実施し、次期の機構長として八木佳子氏が選出された旨、報告があった。6月28日にワークアノミクス研究部会との共催イベントを開催する。

### (4-9) 若手支援委員会

加藤委員長より、第 63 回大会にて博士課程進学を支援するセミナーを開催する準備をしている旨報告があった。

### (4-10) 企業活動推進委員会

佃副委員長より、次期活動についてミーティングを実施した旨報告があった。

### (4-11) 人間工学戦略ロードマップ委員会

三林委員長より、「今日の間工学課題」というタイトルの提言をまとめた旨、配布資料の説明があった。ご一読いただき、ご意見などあればお寄せいただきたいとお願いがあった。

(4-12) 国際誌検討委員会

今回は報告事項なし。

(4-13) 子どもの ICT 活用委員会

吉武理事長より、第 63 回大会にてシンポジウムを開催する準備をしている旨報告があった。

(4-14) SDGs検討委員会

審議第 5 号議案にて報告済み。

(4-15) 研究倫理運用推進委員会

石橋担当理事より、2 月から3月にアンケート(倫理指針・実践編のために現場の「困りごと」募集)を実施し、複数の回答が寄せられた旨報告があった。

(4-16) 第 8 期選挙管理委員会

山田委員長より、第8期代議員・役員選挙を完了した旨報告があった。

(5) 支部報告

(5-1) 北海道支部

平沢支部長より、次期支部長へ引継ぎを実施した旨報告があった。

(5-2) 東北支部

本多支部長より 5 月 16~20 日に東北支部定時総会を開催中の旨報告があった。

(5-3) 関東支部

今回は報告事項なし。

(5-4) 東海支部

斎藤支部長より、5月 14 日に支部役員会と支部総会を開催した旨報告があった。東海支部 2022 年研究大会は 10 月 29 日に朝日大学 菅嶋大会長にて開催する。

(5-5) 関西支部

久保支部長より、3 月 26 日に支部総会と春季講演会を開催したこと、次期支部長への引継ぎを実施したことの報告があった。2022 年度支部大会は 12 月頃に近畿大学(オンライン併催予定)にて開催する。

(5-6) 中国・四国支部

内野支部長より、次期支部長・支部役員への引継ぎを実施していること、7 月に尾道市で開催する第 63 回大会準備を支部をあげて協力している旨報告があった。

(5-7) 九州・沖縄支部

村木支部長より、次期支部長へ引継ぎを実施している旨報告があった。

(6) 協賛等の依頼

石橋総務理事より、合計 13 件の協賛等依頼について報告があった。

(7) その他

今後の理事会日程について

次回第 61 回理事会を 6 月 18 日に芝浦工業大学芝浦キャンパスとオンラインのハイブリッド開催し、その後総会と主催イベントを開催する。

鳥居塚次期理事長予定者より次期に向けての挨拶があった。

(8) 閉会

以上の議事を終え、19 時 06 分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

2022年5月17日

代表理事

吉武良治<sup>印</sup>

監事

青木和夫<sup>印</sup>

監事

大須賀美恵子<sup>印</sup>